

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ理念

「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、オリジナリティの高い「喜び・感動」を創造し、世界の人々の心の豊かさに貢献する

営業収益
507億円

営業利益
67億円

ROA
6.5%

有利子負債
487億円

② 中長期の経営戦略

1. 運輸事業の強化

臨時列車増発、システム更新による混雑緩和、富士五湖エリアでの直通バス新設、自動運転EVバスの自動運転レベル4運行を目指す取り組み

3. レジャー施設の魅力向上

富士急ハイランドでスケートボードパーク新設、外国人誘致強化、さがみ湖MORIMORIの既存施設再整備、PICAリゾート開業30周年イベント開催

2. 不動産事業の正常化

山梨県との交渉により別荘販売業務の正常化、山中湖旭日丘エリアの再開発、遊休地活用による収益最大化

4. ホテル事業の拡充

ナイトタイムエコノミーなど新たな余暇提案、箱根・熱海エリアの積極的な設備投資、富士五湖エリアとの相互周遊観光実現

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性対応

- ・地政学的リスク、異常気象、物価上昇への対応
- ・顧客生涯価値最大化に向けたDX推進
- ・超日常体験提供による顧客ニーズ対応

② 運転士不足への対応

- ・バス路線の再編成による効率化
- ・待遇改善などによる採用強化

③ 安全・労働環境整備

- ・富士急ハイランド労働災害事故への対応
- ・従業員の安全と安心を企業活動の最優先事項に位置付け
- ・労働安全衛生マネジメント強化と安全文化醸成

面接で使えるポイント

- ・2025年度の営業利益67億円達成に向けた成長戦略推進、インバウンド需要取り込みと事業環境変化への対応
- ・自動運転EVバスの自動運転レベル4運行を目指すなど、運輸業でのDX・脱炭素化への積極的な取り組み
- ・創立100周年2026年に向けて「わくわくの最高峰へ」のタグラインで打ち出す、グループビジョン刷新と世界への拡大

証券コード 9010

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
535億円営業利益率
16.4%財務健康度
48点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 48.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
681万円

陸運業内 27位/57社

平均年齢
38.7歳

陸運業内 52位/57社

平均勤続
13.7年

陸運業内 38位/57社

女性管理職
12.5%

陸運業内 4位/46社

男性育休
100.0%

陸運業内 6位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 富士急行[9010]：保有状況報告書 2026年5月20日(

